

## 「新しい旅のあり方検討委員会」開催について

株式会社読売旅行（代表取締役社長 坂元隆）は、ツアー中の新型コロナウイルス感染防止に向け、「新しい旅のあり方検討委員会」を設置し、12日に初会合を開きました。先月、弊社が企画・募集したツアーの参加者から感染者が出たことを受けたもので、感染症対策の専門家や旅行業界の有識者を迎え、ウィズコロナ期にふさわしい安心・安全なツアー商品のあり方を多角的に探って参ります。

特別委員としてお迎えした専門家は、賀来満夫・東北医科薬科大学特任教授▽加來浩器・防衛医科大学校防衛医学研究センター教授▽國島広之・聖マリアンナ医科大学教授▽越智良典・日本旅行業協会参与の4名です。弊社は、観光庁のご指導を受け既に緊急対策として感染防止策を実施しており、初会合でも提示いたしました。主な施策は以下の通りです。

- ・ツアー出発時に健康チェックシートを点検したことを添乗員がメールで報告、本社・営業所がダブルチェックする。
- ・ツアー中も毎日、チェックシートに記入してもらい、発熱や体調不良のお客様には参加をとりやめ、帰宅していただく運用を徹底する。
- ・バス車内での飲食について、食事は禁止し、飲み物も最低限の摂取とする。
- ・バス乗降の際、参加者の手指消毒を徹底し、バス会社に対しても休憩中の換気や消毒を徹底するよう要請する。

会合では、「防止策について、お客様向けにわかりやすくメッセージを発することが大切だ」「旅行中に万一、体調を崩した際の対応をととのえられれば安心・安全につながる」といった意見が出ました。弊社は検討委の議論をさらなる対策強化に生かして参ります。検討委は来月初めをめぐりに「新しい旅」のガイドラインを策定し、来年初めの出発分から、ガイドラインに準拠した新商品をご紹介します予定で。

なお、今回のツアー関連の感染者は、参加者・乗務員計41人の全グループから聞き取りした結果、計18人と判明しました。弊社の10月23日付プレスリリースでは14人と公表しましたが、その後の検査で新たに陽性が判明したり、いったん陰性と判定された方が再検査で陽性となったりしたことがわかりました。

読売旅行のコメント「ツアー参加者から多くの感染者が出てしまったことを、改めてお詫びいたします。商品の発表・販売は、緊急の感染防止策を順守して実施いたします。新しい旅のあり方検討委員会では、感染リスクを最小化するツアーのかたちを真摯に考えます」

感染防止策の詳細は下記URLで。

[https://www.yomiuri-ryokou.co.jp/notice/\\_2020/11/post-5.html](https://www.yomiuri-ryokou.co.jp/notice/_2020/11/post-5.html)

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社読売旅行 CSR推進室（広報担当）担当：林（電話）03-5550-0717